

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 科目の先修関係を2011年度中に図表化し、科目の配置に問題がないか点検し、学生に履修用資料として公開する。	→当該資料、およびその点検と公表の状況。	B
2. 大学での授業理解に必要な学力が不足する学生に対し、これを身につけさせるための仕組みを整備する。	→リメディアル教育プログラム、および2013年度の改訂カリキュラム。	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

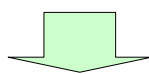
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) カリキュラムは非常に体系的かつ充実していると考え、様々な観点からこれを点検して行く方針である。 (現状説明) 一部の学科でカリキュラムツリー(授業科目間の依存関係を明示したもの)を作成し、授業科目の順次性や体系性を点検するとともに、学生の履修選択の参考資料として公開した。次年度より、これを学部拡大する計画である。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 全般に高い授業水準を維持していると考え。入学時の数学の学力不足に対応するため、2010年度入学生を対象に「数学基礎力テスト」に基づく数学リメディアルプログラムを試行している。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



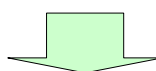
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	入学時の学力（特に数学）の低下への対応が重要課題である。
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	数学リメディアルプログラムに関しては、2010年度の試行結果をふまえ、内容や方式を改良する計画である。物理学のリメディアルプログラムについても検討を行う。
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○「目標」2の進捗評価「C」は、6.2.2の「現状説明」や「改善方策」の記述から判断するとやや厳しすぎるような印象です。

## 【学内委員】

○カリキュラムツリーを学部拡大する計画があること、数学リメディアルプログラムの試行、さらに物理学のリメディアルプログラムの検討等、評価できます。なお、一部の学科でカリキュラムツリーを作成し、学生の履修選択の参考資料としたことの効果も効果が上がっている点として評価されても良いのではと思われます。

○一部の学科でカリキュラムツリーの作成・公表が実施された点は評価できます。今後、このような施策が理工学部の全ての学科で実施されることが望まれます。また、数学に関してリメディアルプログラムが施行された点については評価できますが、その効果を検証し、効果があるのであれば他の科目でも実施することが望まれます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
